

輸出事業計画

※申請者名：大陽製粉株式会社、品目：小麦粉

1. 輸出における現状と課題

【現状】

・当社は昭和18年の創業以来、時代や国の制度の変化に合わせて様々なチャレンジをし続けてきた。元々パン業界向けの製品の取り扱いが少なかった当社において、パン用製品の拡売に繋がる様々な取り組みを行いながら、パン業界での認知度も少しずつ上がってきたところ、海外に販路を持つ製パン向け食品卸会社や海外ベーカリーに影響力を持つシェフ等と協力関係を築くことができ、2012年頃より本格的に海外輸出の取り組み（現地での展示会出展や講習会を開催）をスタートさせた。

・近年、海外において日本式のパンの需要が拡大するなか、より本格志向で材料も日本製造の高い品質のものを求める声が多くなっていることから当社製品の輸出も拡大傾向にある。

【課題】

現地販売代理店は拡販のために大規模なチェーンベーカリーやコンビニエンスストア工場向けに製品提案をしていきたいが、輸送量の増加及び納品までのリードタイムに対応する在庫確保が現状の倉庫スペースの都合上難しく、そのため計画的な生産ができずに安定供給に懸念があるため、ロットの大きな輸出案件には対応できない。

2. 輸出事業計画の取組内容

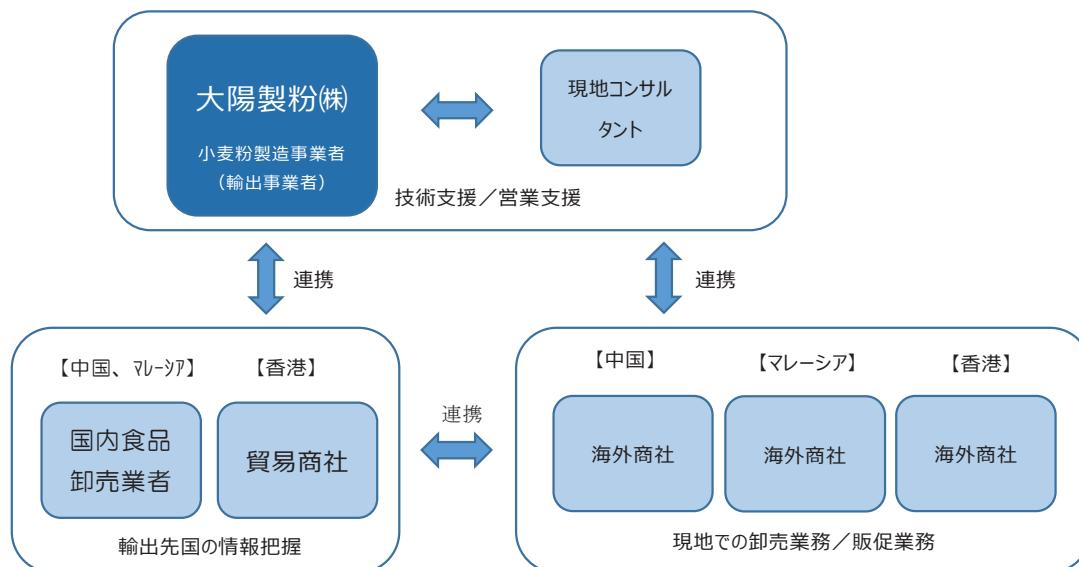
・輸出拡大に対応する倉庫スペース確保のため、購入済みの隣接地に倉庫を建設する予定。

輸出ターゲット国では食品輸出企業にHACCPに準じた衛生管理や、製品汚染・害虫の侵入・食品衛生等への対応や管理を求めているため、当社はすでにISO22000を取得済みであるが新倉庫でもそれに準じた運用が必要であるため、衛生的な保管ができるラック設備の導入や、冷却装置の設置によりの温度・湿度をコントロールして陽圧管理を行い、品質の劣化や害虫やカビ対策を行う。

・引き続き国内の協力会社、現地販売代理店、顧問契約先と連携して、現地のベーカリーを対象とした展示会への出展や講習会を実施してパン用小麦粉の販路拡大を行っていく。



3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

項目	現状（令和2年度）	目標年（令和9年度）
輸出額	84,570千円	151,670千円
輸出量	888 t	1,580 t
輸出先国	中国、マレーシア、香港	中国、マレーシア、香港